

大雨や台風に備えて避難行動を確認しましょう

新型コロナウイルス感染症が終息していない中でも、災害時に危険な場所にいる人は避難してください。

災害に備え、各種ハザードマップで自宅や周辺の災害リスクを確認し、「避難行動判定フロー」で適切な避難行動を確認しましょう。



⚠️ 「避難」とは「難」を「避」けることです
▶ **安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません**

⚠️ 避難先は、指定避難所（公民館、小・中学校など）ではありません
▶ **安全な親戚宅や知人宅への避難も考えましょう（日ごろから相談を）**

避難行動判定フロー

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認しましょう

※各種ハザードマップは防災・危機管理課（市役所本館5階）、支所、出張所で配布しています。市ホームページでも公開しています



防災マップ



土砂災害ハザードマップ



洪水ハザードマップ

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

屋内待機

- むやみな外出は控えましょう
- 周りの状況や気象情報、避難情報を参考に、必要に応じて避難してください

はい

災害の危険があるので、原則として避難が必要です

例外

自宅にとどまり安全が確保できる場合は、垂直避難も選択肢

- ※浸水の危険があっても、
- ①家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食、氾濫流）外にある
 - ②浸水の深さよりも高い場所・建物にいる
 - ③浸水しても水が引くまでの間、水や食料などの備えが十分にある
- ※土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンションなどの上層階に住んでいる

ご自身または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか？

いいえ

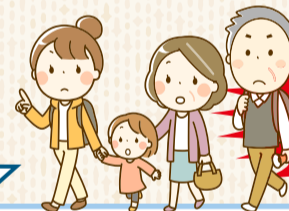
はい

警戒レベル3で立ち退き避難

- 安全な親戚宅や知人宅に避難しましょう（日ごろから相談を）
- 指定避難所に避難しましょう

警戒レベル4で立ち退き避難

- 安全な親戚宅や知人宅に避難しましょう（日ごろから相談を）
- 指定避難所に避難しましょう



警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から避難しましょう。

水害や土砂災害に備えてとるべき行動を5段階の「警戒レベル」でお知らせします。「警戒レベル5」はすでに災害が発生している状況です。

警戒レベル1

心構えを高める
早期注意情報

警戒レベル2

避難行動の確認
大雨注意報など

警戒レベル3

高齢者などは避難

避難に時間がかかる人は避難
避難準備・高齢者等避難開始

警戒レベル4

全員避難

安全な場所へ避難
避難勧告・避難指示（緊急）

年に1回、防災リュックを見直しましょう

【防災リュックの準備】

- 避難時にすぐ持ち出す必要があるものを、持ち運べる重さで、リュックなどに入れましょう
- 玄関の近くなど、すぐに取り出せる場所に置きましょう
- 新型コロナウイルスの感染予防のため、下記の物をできるだけ自分で用意してください



マスク・消毒液・体温計・使い捨て手袋・除菌ウェットティッシュ

☎ 防災・危機管理課 948-6815 ・ FAX 934-1813

「モバイル松山消防」に登録して避難情報を確認しましょう

市消防局では、市民の皆さんに震度4以上の地震や津波、避難情報、火災情報をお知らせするメールを配信しています。登録しておくことで、24時間いつでもパソコンや携帯電話、スマートフォンのメールで情報を受け取れます。

登録方法

- ① 登録用アドレス mtym@mpx.wagmap.jp に空メールを送信
※ドメイン (@psmail.jp) からの受信設定が必要
- ② すぐに届く登録案内メールのURLにアクセス
- ③ 配信希望項目を選択後、「次の画面に進む」を押す
- ④ 内容を確認し、間違いがなければ「入力内容を登録する」を押す
- ⑤ 登録完了メールが届く（登録完了）



☎ (消) 通信指令課 926-9103 ・ FAX 926-9198